

## ポスト「京」研究開発枠の利用について

平成 27 年 8 月 14 日

HPCI 計画推進委員会決定

平成 27 年度の「京」の利用においては、平成 26 年度よりフラッグシップ 2020 プロジェクト（ポスト「京」の開発）の開始を受けて、ポスト「京」研究開発枠が新設されたところ。このポスト「京」研究開発枠は、理化学研究所計算科学研究機構によるポスト「京」のコデザインのための利用及びポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発（以下「重点課題事業」と呼ぶ。）の実施機関によるポスト「京」向けのアプリケーション開発のために利用されるものである。

重点課題の実施機関によるポスト「京」研究開発枠の利用については、次に掲げる戦略プログラム利用枠と同様の手続きにより実施することが適当である。

- 重点課題事業における各重点課題の資源の配分及び重点課題内の資源の配分は、重点課題事業について全体的な観点から定常的かつ強力にフォローアップするため HPCI 計画推進委員会のもとに設置されるポスト「京」重点課題推進ワーキンググループにおいて、国としての戦略的見地から検討されること。
- その利用は、登録施設利用促進機関において審査されること。

## ＜参考＞

平成 27 年度のポスト「京」研究開発枠の計算資源量については、以下を想定。

- 理化学研究所計算科学研究機構による利用については、0.5 %程度。
- 重点課題事業の実施機関による利用については、下期に 5 %程度。

